



2019年10月21日

各位

会社名 住友化学株式会社
 代表者 代表取締役社長 岩田 圭一
 (コード番号 4005 東証第1部)
 問合せ先 経理部長 丹 昌敏
 (TEL 03-5543-5160)

第2四半期業績予想および通期業績予想の修正
 ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表した2020年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想の修正ならびに配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上収益	コア営業利益 (注)	営業利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益	基本的1株当 り四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,180,000	80,000	75,000	35,000	21.41
今回修正予想(B)	1,107,000	84,000	102,000	29,000	17.74
増減額(B-A)	△73,000	4,000	27,000	△6,000	
増減率(%)	△6.2	5.0	36.0	△17.1	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	1,122,118	102,106	91,932	61,486	37.61

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	コア営業利益 (注)	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 り当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,440,000	205,000	190,000	100,000	61.16
今回修正予想(B)	2,330,000	160,000	170,000	50,000	30.58
増減額(B-A)	△110,000	△45,000	△20,000	△50,000	
増減率(%)	△4.5	△22.0	△10.5	△50.0	
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	2,318,572	204,252	182,972	117,992	72.17

(注)コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除しております。

修正の理由

(第2四半期連結累計期間)

第2四半期連結累計期間については、米中貿易摩擦の影響等により、中国経済の減速をはじめとして世界経済の成長の鈍化が鮮明となりました。

このような状況を受けて、売上収益は主として石油化学において原料価格の下落に伴う販売価格の引き下げにより前回発表予想を下回ると予想しております。

利益面では、石油化学において需要の減少に伴い交易条件が悪化いたしました。また健康・農業関連事業においても、メチオニン(飼料添加物)の市況が想定を下回ったことに加え、北米における天候不順の影響により農薬の出荷が当初の想定よりも低調に推移いたしました。一方で、エネルギー・機能材料、情報電子化学、医薬品においては主に需要の伸長に伴い業績が堅調に推移いたしました。特に医薬品においては、堅調な販売に加え、販売費及び一般管理費の進捗が想定を下回ったことにより、大きく増益となる見込みです。これらの結果、コア営業利益は前回発表予想を上回ると予想しております。

営業利益も、コア営業利益の増加に加え、医薬品において、がん領域における開発計画を含む事業計画の見直しを実施したことに伴い、同領域の事業に係る無形資産である仕掛研究開発の減損損失の計上を見込む一方で、この事業計画の見直しに伴い、条件付対価公正価値が大きく減少することにより、減損損失を上回る費用の戻入を見込むことから、前回発表予想を上回ると予想しております。

一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、円高による為替差損の計上に加え、ナパブカシンの隣がん患者を対象としたフェーズ3試験中止の決定等に伴い、米国において認識していた繰延税金資産の取り崩しを行ったこと等により、法人所得税費用が増加したことから、減益となる見込みです。

(通期)

下半期については、世界経済の不確実性の高まりを背景に、不透明な事業環境が続くものと予想しております。このような状況の中、為替相場を前回発表予想の110円/\$から105円/\$へと見直しを行いました。

通期では、円高に伴う輸出手取りの減少はあるものの、エネルギー・機能材料、情報電子化学、医薬品の業績は引き続き堅調に推移する見込みです。一方で、石油化学や健康・農業関連事業においては下半期も当初の想定に比べ業績の悪化を見込むことから、売上収益、コア営業利益は前回発表予想を下回ると予想しております。

また営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益についても、コア営業利益の減少や円高による為替差損の影響に加え、繰延税金資産の取り崩し等により、減益となる見込みです。

2. 配当予想の修正について

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年5月15日公表)	11円00銭	11円00銭	22円00銭
今回修正予想	11円00銭	未定	未定
前期実績 (2019年3月期)	11円00銭	11円00銭	22円00銭

修正の理由

当社は、剰余金の配当の決定にあたり、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の業績、配当性向ならびに将来の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、安定的な配当を継続することを基本としております。

通期連結業績予想数値は、上記の通り下方修正いたしました。当期の期末配当については、前回予想時の11円から未定に変更することとし、不透明な事業環境が続く中、下半期および次期の業績動向を見極めた上で、改めて公表することといたします。

※ 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上

(補足情報)

第2四半期連結累計期間セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
石油化学	売上収益	385,000	352,000	△33,000
	コア営業利益	19,000	17,000	△2,000
エネルギー・ 機能材料	売上収益	150,000	131,000	△19,000
	コア営業利益	12,500	12,500	0
情報電子学 化	売上収益	210,000	206,000	△4,000
	コア営業利益	13,500	15,000	1,500
健康・農業 関連事業	売上収益	165,000	146,000	△19,000
	コア営業利益	0	△8,500	△8,500
医薬品	売上収益	245,000	247,000	2,000
	コア営業利益	40,000	46,500	6,500
その他 全社費用等	売上収益	25,000	25,000	0
	コア営業利益	△5,000	1,500	6,500
合計	売上収益	1,180,000	1,107,000	△73,000
	コア営業利益	80,000	84,000	4,000

通期セグメント別業績予想

(単位:百万円)

		前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
石油化学	売上収益	765,000	705,000	△60,000
	コア営業利益	40,000	24,000	△16,000
エネルギー・ 機能材料	売上収益	310,000	280,000	△30,000
	コア営業利益	25,000	23,000	△2,000
情報電子学 化	売上収益	425,000	425,000	0
	コア営業利益	27,000	27,000	0
健康・農業 関連事業	売上収益	390,000	365,000	△25,000
	コア営業利益	37,000	11,000	△26,000
医薬品	売上収益	495,000	500,000	5,000
	コア営業利益	81,000	81,000	0
その他 全社費用等	売上収益	55,000	55,000	0
	コア営業利益	△5,000	△6,000	△1,000
合計	売上収益	2,440,000	2,330,000	△110,000
	コア営業利益	205,000	160,000	△45,000